

この日、消防本部で普通救命講習Ⅰが開催されました。救急救命士2人が講師となり、AEDの取り扱いと心肺蘇生法、止血方法などをDVDの視聴と実践練習を交えて指導していました。当日は、新型コロナウイルス感染症対策のため、受付で検温と手指消毒や体調確認表の記入、会場では換気や参加者どうしのソーシャルディスタンスの確保などの対策が講じられました。イベントに参加した高橋久実子さんは、「今回で普通救命講習Ⅰの受講は3回目です。万が一に備えて、ふだんからAEDがどこに置いてあるのかを把握することがたいせつだと思いました。また、来年も参加し、正しい知識を身につけておきたいです」と力強く話してくれました。

7/11
消防本部

救命の連鎖をつなぐ



児童センターで、親子参加型のリフレッシュ体操が開催されました。新型コロナウイルス感染症対策のため、講座を前半、後半の2部制に分け、会場に入る前には検温、手指消毒が行われました。参加した親子は講師の掛け声や音楽のリズムに合わせて、ヨガマットの上で大きく体を動かしました。最初は緊張した様子でしたが、ふだん使わない筋肉を動かしたり、ストレッチをすることで、凝り固まった体をほぐし、リフレッシュした様子でした。

7/13
児童センター

リフレッシュ体操



まちの風景

蓮田駅西口行政センターの会議室で行われた黒浜第2愛育班の夏のお楽しみ会は新型コロナウイルス感染症対策のため、検温と手指消毒の実施、定員を設けた2部制での開催となりました。子どもたちは、手形を付けたオリジナルのうちわ作りやぬいぐるみの魚つり、ボールを使ったあて、ビンゴ、トンネルくぐりなどを保護者のかたや愛育班の役員のかたたちと時間いっぱい楽しみました。

7/13
蓮田駅西口行政センター

愛育班イベント
色んな遊びを
楽しもう



(後列) 細田恵理さん (前列右) 杏奈ちゃん
(前列左) 佑奈ちゃん



中学校で防災キャンプが開催され、生徒や関係者約100人が参加しました。過去の災害の教訓を活かし、被災した場合には適切な行動や対応をとれるようにするためのこのキャンプ。南三陸町で実際に被災されたかたたちによるオンライン講演や、防災アドバイザーによる過去の災害から学ぶべき教訓の説明を生徒たちは真剣な表情で聞いていました。キャンプの後半には消防署職員による救命講習、危機管理課職員による防災倉庫の備蓄品の紹介も行われました。

7/24

災害に備える

